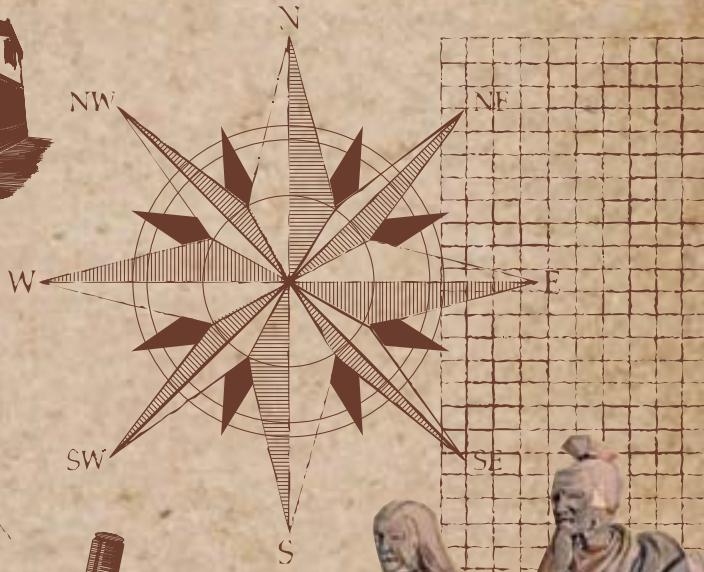


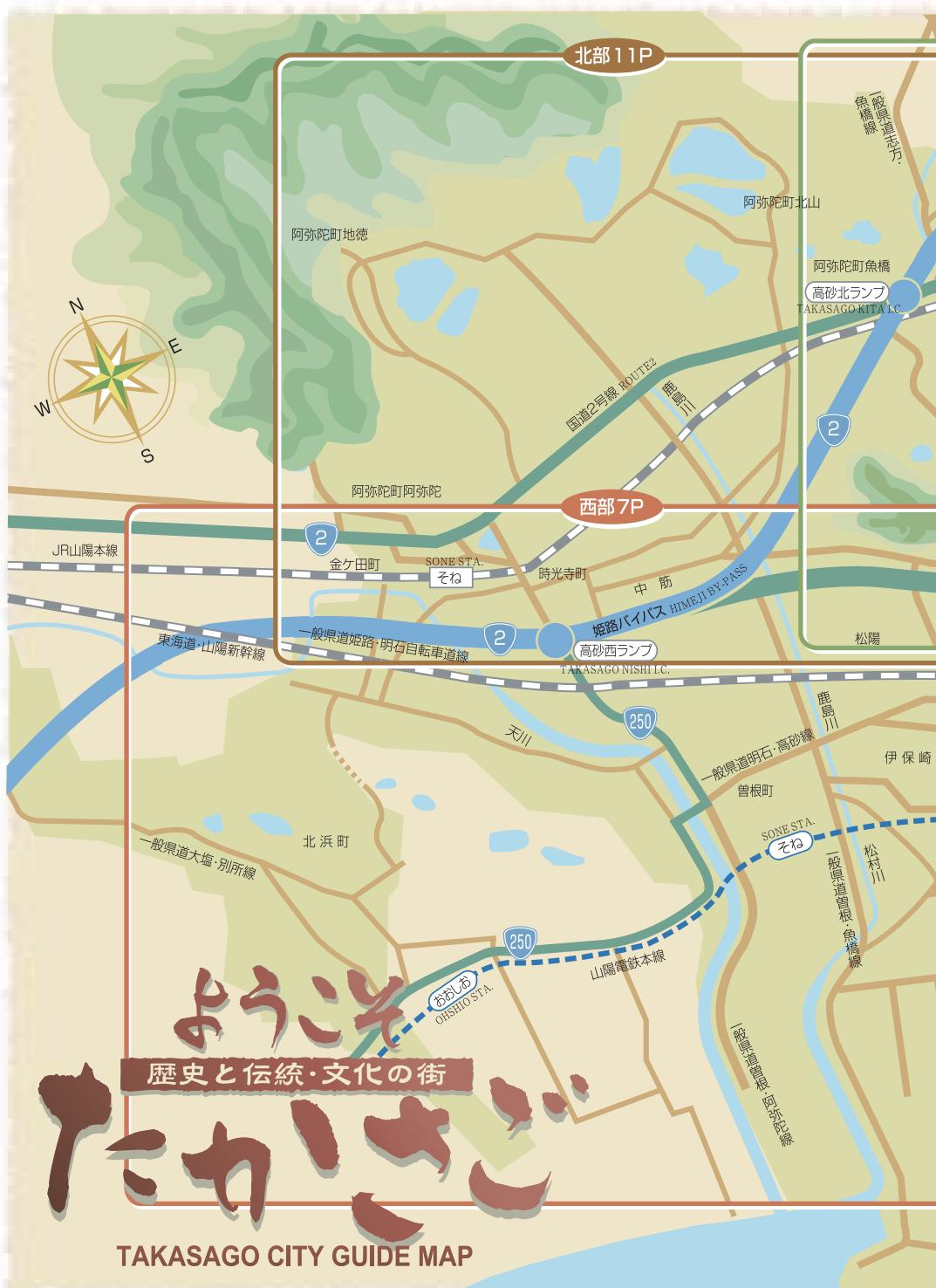
# 東西南北

高砂ぐるり



高砂観光ガイド







東部5P

(加古川西ランプ)  
KAKOGAWA NISHI I.C.

ほうでん

JR山陽本線 JR SANYO LINE (KOBE LINE)

2

## 高砂ぐるり「東西南北」 もくじ

- ようこそたかさご ..... 1
- どんな街「高砂」 ..... 3
- 「高砂」の四季カレンダー ..... 4
- 高砂東部 ..... 5
- 高砂西部 ..... 7
- 高砂南部 ..... 9
- 高砂北部 ..... 11
- 「高砂」ゆかりの人物 ..... 13
- 「高砂」の特産あれこれ ..... 14

南部9P

国道250号線 MEIKI MAIN WAY ROUTE250

JR SANYO SHINKANSEN LINE

加  
古  
川

SANYO R.WY.

# どんな街「高砂」

「高砂やこの浦舟に帆をあげて…」と古くからめでたい謡曲「高砂」(世阿弥作)で知られる高砂市は、兵庫県南部播磨平野の東部に位置し、東に加古川が流れ、南に瀬戸内海に面する。古くから白砂青松の風光明媚な泊として栄えてきました。西部の日笠山や中央部の竜山などの丘陵地には多くの遺跡が発見されており、原始・古代の人々の暮らしぶりをしのぶことができます。また、高砂は古くから景勝の地であったため、多くの歌人たちにも愛され、「稻日野も行き過ぎがてに思へば 心恋しき可古の島見ゆ(柿本人麿)」をはじめ、多くの和歌が詠まれ万葉集などの数々の歌集を賑わせています。近世になって高砂が発展したのは、姫路城主 池田輝政公が慶長6年(1601年)に加古川の流れを高砂に導いて加古川舟運の河口港を開き、その後、本多忠政公によって本格的な町づくりが進められ、加古川流域の物資の集散地になってからのことです。この時代には付近の村々では米作りのほか製塩業や綿業、採石業などの地場産業が発達し、商品流通も盛んに行われました。

近現代になると大阪や神戸などの大都市に近いことや豊富な用水があること、埋め立てしやすい遠浅の海岸などが企業の立地条件となって、機械・製紙・化学・食品・電力などの大工場が進出し、播磨臨海工業地帯の中核となりました。昭和29年には高砂町・荒井村・伊保村・曾根町が合併して高砂市が誕生し、その後、昭和31年には阿弥陀村・米田町を合併、翌年北浜村を併せ現在の高砂市になり、一層の発展をめざしています。市内には高砂神社・生石神社・鹿嶋神社・曾根天満宮・十輪寺などの社寺や石の宝殿などの史跡も多く、市内各神社の秋祭りなどの行事には多くの人々が訪れる観光地にもなっています。平成22年2月1日現在、面積34.4km<sup>2</sup>、人口96,915人、東播磨地域の中核都市として、前進しています。



高砂市全景



市の木「まつ」



市の花「きく」

# 「高砂」の四季 カレンダー

冬

- 1月1日 初詣/市内各神社
- 1月中旬の日曜日 千両戎祭/荒井神社 初戎/曾根天満宮



春

- 3月25・26日 春祭り/曾根天満宮
- 4月上旬～ 花見/鹿島・扇平自然公園  
日笠山・鹿島川沿い



- 4月16日 例祭/鹿嶋神社  
(月並祭/毎月1日及び16日)

- 5月21日 尻姥祭(お面掛け神事)/高砂神社
- 5月下旬 武藏・伊織まつり

- 6月28・29日 夏まつり/荒井神社
- 6月30日 輪抜けさん/高砂神社・曾根天満宮  
鹿嶋神社

- 7月7～13日 祇園さん/高砂神社



夏

秋(市内各神社秋祭り日程)



- 10月体育の日の前々日・前日  
小松原三社  
大神社



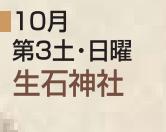
- 10月10・11日  
高砂神社



- 10月13・14日  
曾根天満宮



- 10月14・15日  
大塩天満宮



たかさご  
万灯祭



9月最終  
土・日曜



灯りに浮かぶ高砂旧街並とジャズで幻想的な夜を演出しています。

魅力あふれる街。  
石文化が脈々と息づく  
**東部**

## EAST AREA

### 最寄りの交通ポイント

- JR宝殿駅
- 加古川バイパス  
加古川西ランプ
- 姫路バイパス高砂北ランプ



### 7 高砂市総合運動公園 GENERAL SPORTS PARK

陸上競技場や野球場のほか、テニスコート・総合体育館が整備された市民スポーツの拠点です。

- 所在地/高砂市米田町島  
TEL (079) 432-9090
- 開館時間/総合体育館  
8:30～21:00(月曜休) あり



## 6 ばんとう通り BANTOH ST.

江戸時代の代表的大商人であり、町人学者「山片蟠桃」の功績を称え、神爪のかんな公園には像が、覚正寺には顕彰墓が建立されており、これらが面している通りを「ばんとう通り」と名づけられています。



## 1 生石神社(石の宝殿) OHSHIKO SHRINE

切妻風の突起を後ろにして家を横たえたような高さ幅とも5mを超える巨大な石造物(石の宝殿)があります。いつ・誰が、何のために作ったかわからず、日本三奇の一つに数えられています。

■所在地/高砂市阿弥陀町生石  
TEL (079) 447-1006 [□あり]



## 2 米田天神社 YONEDATEN SHRINE

宮本武蔵・伊織の高砂生誕説を裏付ける棟札が残る泊神社(加古川市)の分社で、承応2年(1653年)、伊織が泊神社を再建時、その旧社殿を移築したゆかりの神社です。

■所在地/高砂市米田町米田



## 3 ふれあいの郷 生石 FUREAI-NO-SATO-OHSHIKO

家族や仲間同士の憩い、クラブの合宿またはビジネスシーンに快適な時間を過ごせる施設です。

■所在地/高砂市阿弥陀町生石  
TEL (079) 447-4100

■開館時間/9:00～19:00(第2・4日曜休)  
[□あり]



## 4 觀濤処 KANTOSHŌ

播磨灘を眺望する加茂山の中腹にある巨岩に「觀濤処」の文字を刻んだ碑石で、永根文峰が書いたものを当時の姫路藩主、河合寸翁が刻ませ、天保7年(1836年)に完成したものです。

■所在地/高砂市竜山



## 5 宮本武蔵・ 伊織生誕地碑 THE MONUMENT OF MIYAMOTO MUSASHI AND IORI'S BIRTH PLACE

高さ約3.5m、幅約7m、重さ約100tの地元名産の竜山青竜石で造られ、題字は武蔵が仕えた九州・細川家の子孫第25代当主細川護貞氏によるものです。

■所在地/高砂市米田町米田

# 西部

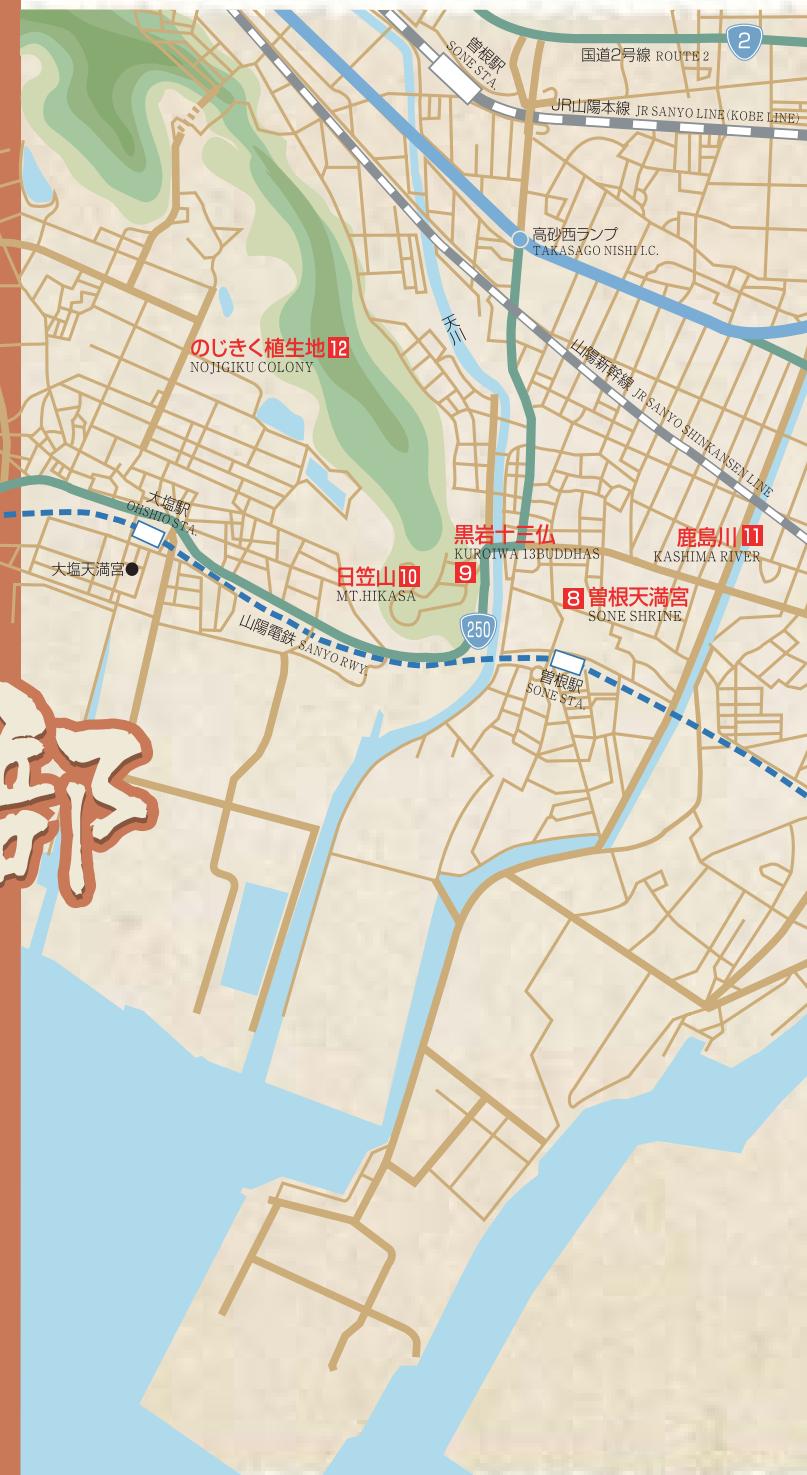
WEST AREA

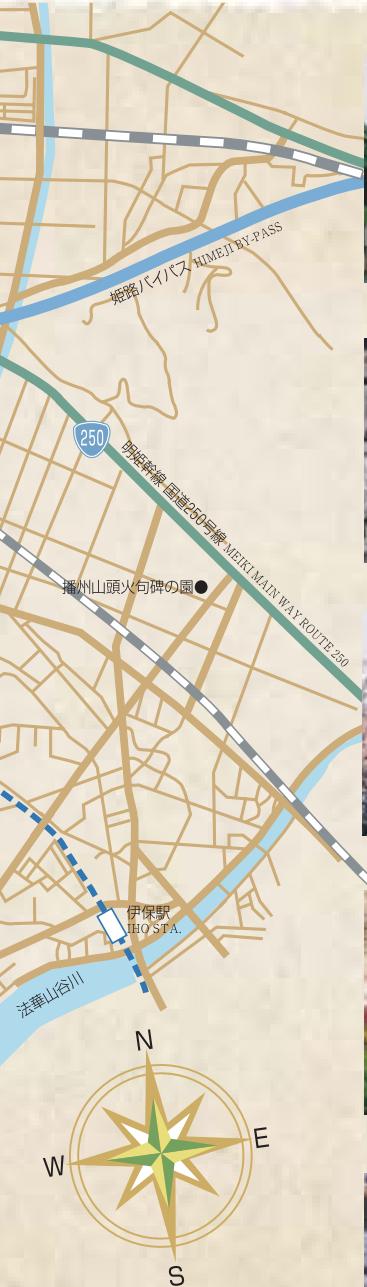
## 最寄りの交通ポイント

- JR曾根駅
- 山陽電鉄伊保駅
- 山陽電鉄曾根駅
- 山陽電鉄大塩駅
- 姫路バイパス高砂西ランプ

風光明媚な街。

瀬戸内海の潮の香り広がる





## 8 曾根天満宮 SONE SHRINE

菅原道真を祀る神社として有名で、境内には道真自ら植えたといわれる「曾根の松」があります。

■所在地/高砂市曾根町  
TEL (079) 447-0645  
□あり



## 9 黒岩十三仏 KUROIWA 13 BUDDHAS

十三体の仏像を岩に刻んだ磨崖仏で通称「黒岩さん」。長方形の面には上段には五仏、下段に八仏の座像が刻まれ、銘文から永正2年(1505年)のものとわかります。

■所在地/高砂市曾根町



## 10 日笠山 MT. HIKASA

晴天の日には遠く淡路島、家島などの播磨灘を一望できる日笠山。ハイキングコースにも選ばれる自然豊かな環境にあり、桜の名所としても知られています。

■所在地/高砂市曾根町



## 11 鹿島川 KASHIMA RIVER

高御位山の麓から瀬戸内海に流れ込む鹿島川。春の頃は両岸をさくら並木が咲き乱れ、道行く人の心を和やかにしてくれます。



## 12 のじぎく植生地 NOJIGIKU COLONY

のじぎくは兵庫県の県花。高砂市内では晩秋に日笠山のハイキングコースにある馬坂峠付近に清楚なのじぎくを見ることができます。

歴史と伝統の街。  
先人の息吹き伝わる

# 南部

## SOUTH AREA

### 最寄りの交通ポイント

- 山陽電鉄高砂駅
- 山陽電鉄荒井駅

### 19 産業観光エリア

ウォーターフロントである臨海部にはいろいろな企業が進出しておおり、醤油製造のキッコーマン食品(株)、「高砂工業公園」にある缶コーヒー やウーロン茶製造のサントリー プロダクツ(株)では工場見学が楽しめます。



キッコーマン高砂工場



サントリー高砂工場



### 26 あらい浜風公園 ARAI HAMAKAZE PARK

### 26 あらい浜風公園 ARAI HAMAKAZE PARK

播磨灘の景色を一望できる展望施設、約800mのゴムチップ舗装の散歩道、帆船型の複合遊具、市民がオーナーとなる花壇などがあり、訪れた人々の憩いの場として新たに創出されました。

■所在地/高砂市荒井町新浜2丁目  
TEL (079) 443-3319

■開園時間/4月～11月6:00～20:00  
12月～3月7:00～18:00

## 13 高砂神社

TAKASAGO SHRINE

「高砂や～この浦舟に帆をあげて…」  
で知られる謡曲「高砂」の発祥の  
地です。境内には結納にはかかせ  
ない「尉と姥」の由来である靈松「相  
生の松」があり、人々の信仰を集め  
ています。

■所在地/高砂市高砂町東宮町  
TEL (079) 442-0160  
□あり



## 高砂市文化会館 (じょうとんぱーホール)

TAKASAGO CULTURAL HALL

●

高砂駅

TAKASAGO STA.

●

高砂町の町並み

●

高砂町

TAKASAGO MACHINAMI

●</

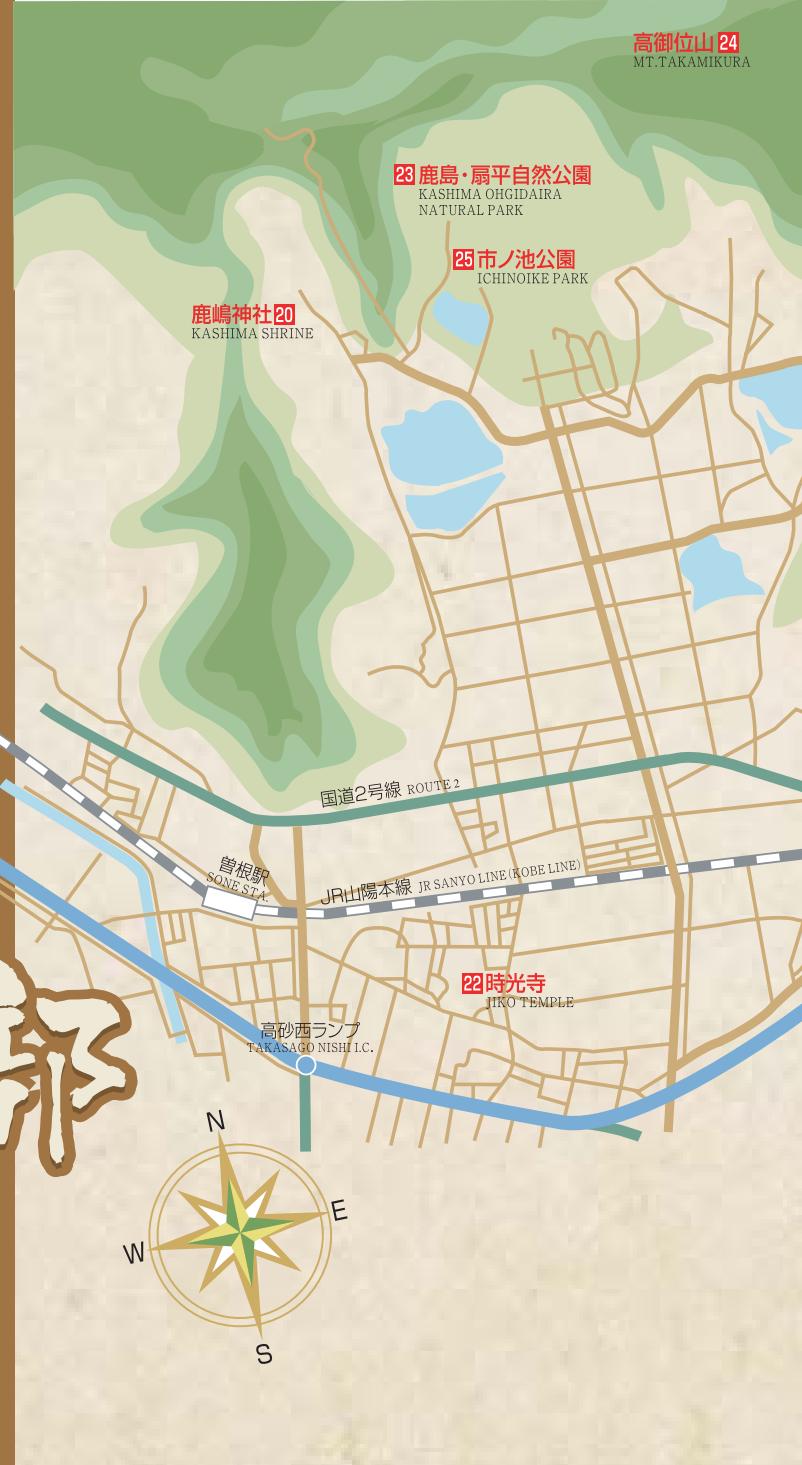
# 北部

NORTH AREA

最寄りの交通ポイント

- JR曾根駅
- 姫路バイパス高砂北ランプ
- 姫路バイパス高砂西ランプ

ふるさとの街。  
緑豊かな自然が身近な





**21 北山鹿島神社**  
KITAYAMA  
KASHIMA SHRINE



かしまじんじゃ  
**20 鹿島神社**  
KASHIMA SHRINE

一人一願心を定めてお詣りすると願いがかなうという「一願成就の神」として有名で、遠くからの参詣者が絶えません。

■所在地/高砂市阿弥陀町地徳  
TEL (079) 447-4676  
□あり



きたやまかしまじんじゃ  
**21 北山鹿島神社**

正保2年創建以来、数々の不思議な靈験で知られ、各地より多数の参詣者が訪ねています。

■所在地/高砂市阿弥陀町北山  
□あり



じこうじ  
**22 時光寺**  
JKO TEMPLE

「時光寺への三度の参詣は、善光寺への一度の参詣に当たる」といわれ、「播磨の善光寺」とも呼ばれています。

■所在地/高砂市時光寺町  
TEL (079) 447-1134  
□あり



かしまおおぎだいらしそんこうえん  
**23 鹿島・扇平自然公園**  
KASHIMA OHGIDAIRA  
NATURAL PARK

春は約2,000本の桜、夏は新緑、秋は紅葉と標高約300mの高御位山を背景とした自然露出岩とのコントラストは、年間を通じて見事な眺望です。広大な園内には鹿島神社、展望台、児童遊園、ハイキングコースなどがあり、うるおいとやすらぎを教えてくれます。

■所在地/高砂市阿弥陀町



たかみくらやま  
**24 高御位山**  
MT.TAKAMIKURA

標高約300mで播磨富士とも呼ばれています。頂上からは高砂・加古川市街、播磨灘など360度の眺めが楽しめます。また、ここから関西では、はじめてグライダーを飛ばしたという飛翔の碑があります。

■所在地/高砂市阿弥陀町

**25 市ノ池公園**  
ICHINOIKE PARK  
美しい高御位山のふもとにあり、テントサイトやバー・ペキューサイト、キャンプ施設等を完備。  
■所在地/高砂市阿弥陀町地徳  
TEL (079) 447-6401  
■開館時間/9:00~17:00 □あり



# 「高砂」 ゆかりの人物

みや もと む さし い おり  
**宮本武蔵・伊織**  
MIYAMOTO MUSASHI-IORI



武藏は、天正12年(1584年)播磨国印南郡河南庄米塹村、現在の高砂市米田町で生まれました。13歳で初決闘した後、佐々木小次郎ほか六十余の戦いに勝利しています。その後、明石に住み、51歳で九州小倉、小笠原家の客分となり、晩年は熊本・靈巖洞にこもり五輪書を完成させました。伊織は、慶長17年(1612年)武蔵の兄の次男として生まれ、寛永3年(1626年)武蔵の養子となり、明石の譜代大名小笠原忠真の側近として仕官し、その後、家老となっています。

く らく まつ え もん  
**工楽松右衛門**  
KURAKU MATSUEMON



わが国の帆布製造の始祖として知られる初代工楽松右衛門は、寛保3年(1743年)高砂町東宮町に生まれました。従来の帆布に改良を加え、厚地大幅物の帆布の織り上げに成功、「松右衛門帆」と呼ばれて全国の帆船に用いられるようになりました。また、幕府の命を受けて千島の押揚島に埠頭を築くなど優れた築港技術者として活躍しました。彼の功績を称え、高砂神社の境内には銅像が建てられています。

み の べ たつ きち  
**美濃部達吉**  
MINOBE TATSUKICHI



明治6年(1873年)高砂町に生まれました。幼少のころより神童と呼ばれ、東京帝国大学法学校を卒業後、東大教授として憲法を講じています。その後、達吉の論じた「天皇機関説」が問題となり、著書「憲法撮要」などが発売中止となり、その後、公職を退かざるを得なくなりました。しかし、敗戦後、憲法改正の際には顧問として活躍し、新憲法の研究を重ね、次々と著書を執筆しました。

てん じく とく べ え  
**天竺徳兵衛**  
TENJIKU TOKUBEE



慶長17年(1612年)高砂町船頭町に生まれました。京都の豪商角倉貿易市の船頭前橋清兵衛の書役としてシャム(タイ)にわたるなど交易に従事しました。徳兵衛はこの間の体験を見聞記にまとめました。この話はやがて歌舞伎の題材になり、ことに四世・鶴屋南北の『天竺徳兵衛韓断(いこくばなし)』は大当たりをとりました。高砂町横町の善立寺にその墓が残っています。

やま がた ばん とう  
**山片蟠桃**  
YAMAGATA BANTOH



寛延元年(1748年)神爪に生まれました。13歳で大阪に出て両替商に仕え、主人が亡くなると幼主を支えて仙台藩の蔵元として立て直したほか、多くの大名貸しをつとめる大商人となりました。また、生来の学問好きで、晩年に大作『夢の代』を著しました。同書で蟠桃の合理主義的な思想は今なお高い評価を受けています。

さ さ き  
**佐々木すぐる**  
SASAKI SUGURU



私たちに馴染みの深い童謡「月の砂漠」や「お山の杉の子」「青い鳥」を作曲した佐々木すぐるは、明治25年(1892年)阿弥陀町魚橋に生まれました。作曲のほか、若い鳥児童合唱団を主宰するなど一生を音楽活動に捧げ、その功績には特筆するものがあります。阿弥陀町魚橋の正蓮寺には森繁久弥氏の筆の顕彰碑が建立されています。

# 「高砂」の特産あれこれ

## 焼あなご



活きのいいあなごを手早く開いて焼きあげる焼あなごは、高砂の代表的な特産品です。長年培われた職人の技が生まれ出す味と品質のよさは全国的に有名で、味の特産として喜ばれています。

## にくてん



「にくてん」は高砂流お好み焼きのことで、薄く延ばした生地に味付けされたじゃがいも、すじ肉、こんにゃく、キャベツなどをのせて焼き、ソースを塗つて半分に折ってまたソースを塗ればできあがみです。じゃがいも、すじ肉、こんにゃくが絶妙な食感です。

## かしわ餅



多くの参詣客で賑わう鹿嶋神社の参道に軒を並べるお茶屋の名物「かしわ餅」は、ふるさとの味を楽しませてくれます。一年中、かしわ餅を蒸す白い湯気も高砂の名物です。

## 竜山石



比較的軟質の凝灰石で、加工しやすく、建築・造園用として広く利用されている竜山石も高砂の特産品。垂直に切り立った断崖が続く採石場のモザイク風に連なる岩肌も高砂の風物詩の一つです。

## 高砂ブランド協会 アンテナショップ 文化屋ちぢり

「ぼっくりん」のグッズや高砂ブランド商品を販売し、高砂をPRしています。

所在地／高砂町船頭町1305

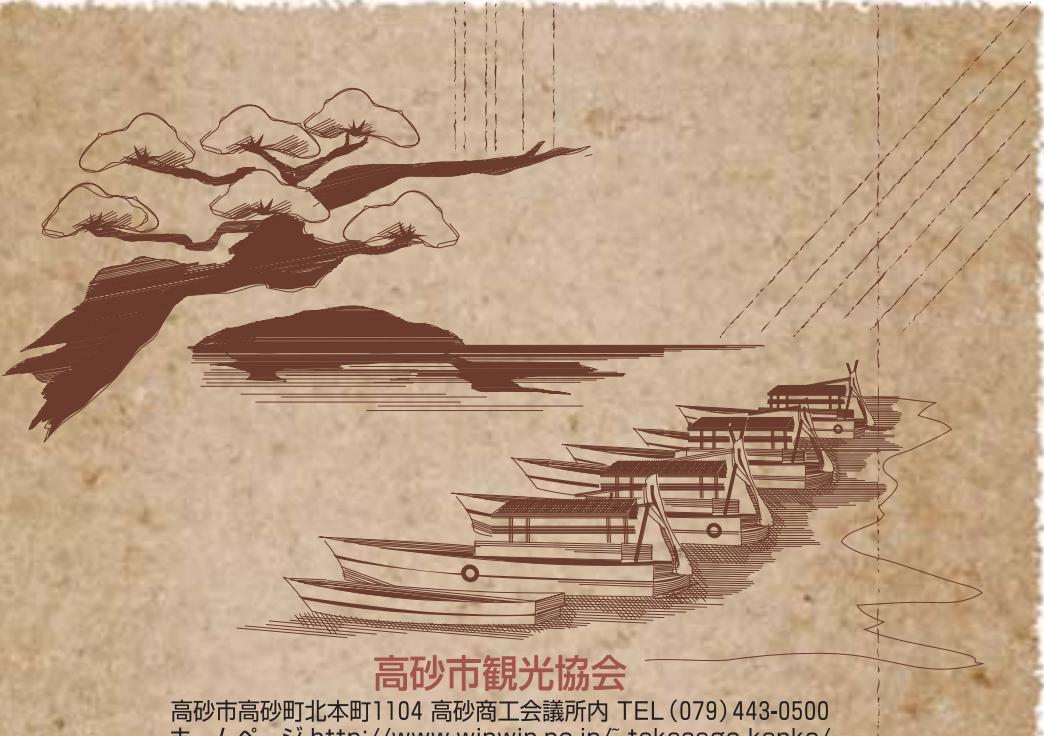
TEL (079) 440-6500



## 高砂市のマスコット ぼっくりん

縁結び、夫婦和合の象徴  
「尉と姥」が宿る相生の松の妖精“ぼっくりん”が誕生しました。いろいろな出会いの縁を取りもつ心やさしい“ぼっくりん”をよろしくね!!





## 高砂市観光協会

高砂市高砂町北本町1104 高砂商工会議所内 TEL (079) 443-0500  
ホームページ <http://www.winwin.ne.jp/~takasago-kanko/>

## 高砂市 生活環境部 産業振興課 商工観光労働係

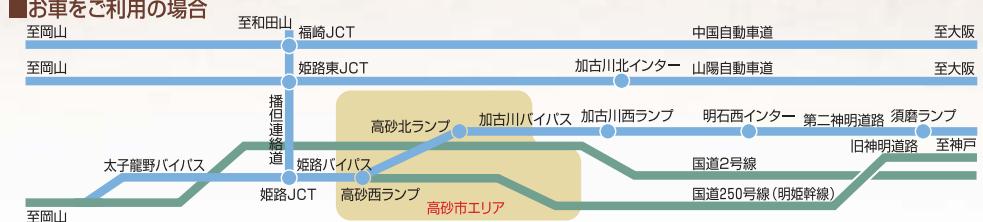
高砂市荒井町千鳥1-1-1 TEL (079) 443-9030  
ホームページ <http://www.city.takasago.hyogo.jp/>

### 高砂への交通アクセス

#### ■電車をご利用の場合



#### ■お車をご利用の場合



●加古川バイパス高砂北ランプは神戸方面行き本線からの出口はありません。

●姫路バイパス高砂西ランプは神戸方面行き本線への入口、姫路方面行き本線からの出口はありません。